

令和2年度

事業報告書

自 令和2年 4月 1日

至 令和3年 3月 31日

目 次

〔Ⅰ〕概 要.....	1
〔Ⅱ〕組 織	
1. 機 構.....	3
2. 理事・監事・評議員・最高顧問.....	4
3. 会議記録.....	5
4. 委員会.....	7
1) 委員会の所管事項.....	7
2) 委員会委員.....	8
3) 委員会・部会 会議実績.....	10
5. 自動車教育推進協議会.....	12
〔Ⅲ〕事業活動	
1. 自動車技術教育支援事業.....	14
1) 機材提供活動.....	14
2) 教員支援活動.....	16
3) 協賛支援活動.....	17
4) 交流促進活動.....	17
2. 調査研究事業.....	19
1) 調査活動.....	19
2) 教材作成活動.....	20
3. 研修事業.....	22
1) 財団研修活動.....	22
2) 講師派遣活動.....	22
4. 普及啓発事業.....	24
1) 普及啓発活動.....	24
2) 広域普及啓発活動.....	25

〔IV〕 支援活動

- 1. 自動車技術教育関連イベントへの支援…………… 28
- 2. 研究会及び研究大会への支援…………… 28

〔V〕 組織運営

- 1. 理事・監事・評議員の異動…………… 29
- 2. 委員会・部会の効率的な運営…………… 29
- 3. 財務・経理の状況…………… 29

〔VI〕 庶務事項

- 1. 事務局体制…………… 30
- 2. 賛助会費・寄附金の状況…………… 30

※ 添付資料

- 【資料1】 令和2年度講師派遣実績…………… 31
- 【資料2】 自動車技術教育の現状と課題に関するアンケート（サマリー） …… 37
- 令和2年度事業報告附属明細書…………… 39

〔I〕令和2年度 事業報告 概要

財団は、社会と自動車のより良い関係を形成するため、高等学校における自動車及び交通に関する教育への支援を行い、我が国の交通社会及び交通文化の健全な発展に寄与すべく、事業活動に取り組んでいる。令和2年度においては、コロナ禍で多くの活動が制約を受けた。一方で、令和2年度の目玉事業に掲げた動画学習サイトの構築・コンテンツ作成を計画通り実施したほか、コロナ禍の下でも対応可能な高等学校に対する支援・情報提供に取り組んだ。

自動車技術教育（自動車技術に関する教育）については、高等学校における技術教育の維持・向上とさらなる普及を支えるために取り組んだ。自動車技術教育用教材の継続提供に対する高等学校からの強い要望に応えるため、広域公募を継続すると共に、コロナ禍により教育懇談会の開催が制約される中で、アンケート方式による教育現場の意見集約を実施した。

交通社会教育（自動車及び交通と社会とのかかわりに関する社会教育）では、「交通」「環境」「交通安全」「自動車」の4テーマを中心に取り組んだ。これらに関する国内外の先進事例の調査を実施し、その結果を動画学習サイトで情報発信した。また、先生方の関心が高い環境や安全に関する先進技術や交通安全等については、先生方を対象とした財団主催研修会や、関係団体からの専門講師の派遣を行うなどして、高校における自動車や交通に関する教育を支援した。

1. 自動車技術教育支援事業

技術教育支援事業では、北海道・関東・北陸・中国地方の14都道府県293校を対象に、自動車技術教育用教材提供の公募を行い、前回応募がなかった鳥取・島根を含めた14都道府県91校より応募があった。審査委員会にて厳正な審査・選考を行い、応募のあった全91校に教材の提供を行った。これで、平成3年からの提供校累計は2,101校となった。また、担当教諭の技術知識や指導能力向上支援の一環として、汎用エンジン提供校（26校）への訪問指導、分解組立用エンジン提供校（9校）への解説DVDの提供、及び技術系の講師派遣（16件）を実施した。

また、コロナ禍により開催を断念した教育懇談会に替えて、教材提供校に対して自動車技術教育に関する現状と課題に関するアンケートを実施して、この集約結果を自動車教育推進協議会と共有した。併せて自販連各県支部に「インターンシップ等相談窓口一覧」作成交付を依頼し、教材提供校と各地域の教育委員会に提供し高等学校と自動車関係団体との自動車技術教育に関する交流促進と自動車教育の普及促進を図った。

2. 調査研究事業

調査研究事業では、国内調査を2回実施した。カーシェアリングの多様化、地域内移動手段確保のための自律走行バスの運行について調査した。海外調査はコロナ禍により中止したが、コロナ禍での社会・経済活動の変化が、クルマの使い方や楽しみ方にも及んでいる海外の交通事情の一例として、ドイツハンブルクでのドライブインコンサートについて情報・デ

ータを収集した。これらの調査結果を動画化し、本年度新設した動画学習サイト『早わかり！クルマ塾』に掲載し、広く高等学校への展開を行なった。

また公民科の新科目となる「公共」用の副教材として、「公共」副教材2021”を新規に制作し、ウェブサイトで公開した。

3. 研修事業

研修事業では、JAEF 研修会（財団主催の研修会）を2回計画したがコロナ禍により1回の開催となった。会場参加（17名）に加え、動画視聴も可能とし、参加者から大変高い評価を得た。

講師派遣活動においては、全国の高等学校を対象に広域公募活動を行った。コロナ禍により多くのキャンセルが発生したが、213件の講師派遣を実施でき、受講した教職員と生徒の合計は61,666名となった。

4. 普及啓発事業

普及啓発事業では、自動車教育支援の更なる強化、クルマへの関心・理解向上を図るべく、前年度まで制作していた Web マガジン『Traffi-Cation』に代え、動画学習サイト『早わかり！クルマ塾』を開設し、自動車産業の歴史、最新技術などをテーマとした計21本のコンテンツを掲載した。

さらに、広域普及啓発活動として、ホームページ、ニュースリリース（『JAEF NEWS』）、定期事業報告紙（『JAEF REPORT』）等の多様なメディア展開を図るとともに、メールマガジンやフェイスブックによる情報提供を継続し、広く世間に対して自動車教育並びに財団活動に関する情報発信を行った。また、財団ホームページや支援メニューチラシについては、事業展開に合わせて適宜更新を行うなど、タイムリーな情報発信を心掛けた。

5. 組織運営について

令和2年度の財団事業は、第21回理事会（令和2年3月11日開催）にて承認された令和2年度事業計画及び令和2年度収支予算に基づき、展開された。

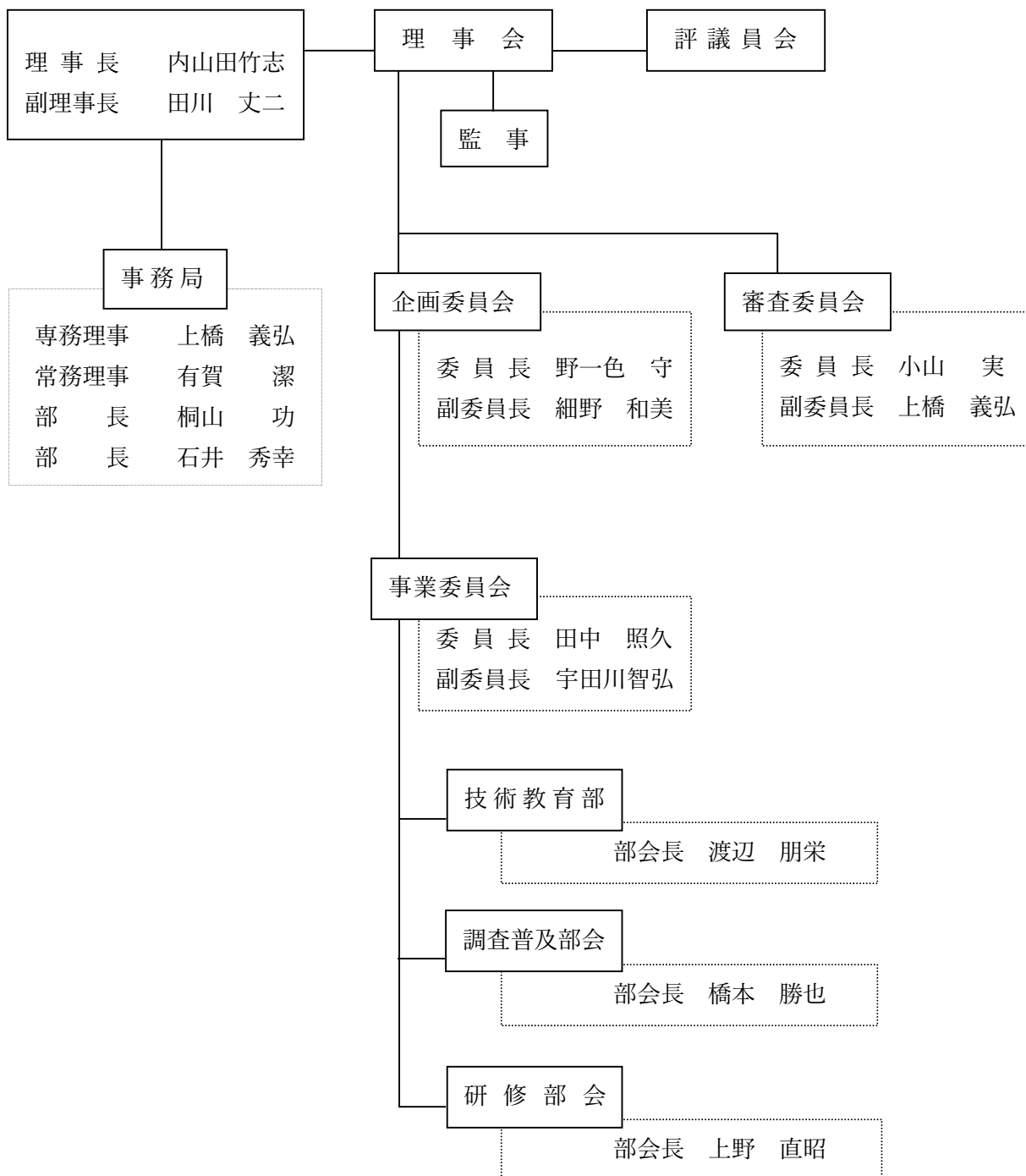
具体的な事業展開に際しては、各委員会・部会での検討を経て、効率的な展開を心がけた。これらの会議の開催状況は、企画委員会3回、審査委員会1回、事業委員会2回、技術教育部会4回、調査普及部会2回、研修部会2回となっている。

収支に関しては、収入は基本財産運用益の増加に伴い前年度から251万円増の7,730万円となった。支出はコロナ禍による各種取り組みの中止・縮小が影響し、前年度から1,262万円減の6,373万円にとどまった。最終的な収支全体は、1,357万円の黒字となった。

〔Ⅱ〕組織

1. 機構

令和3年3月31日現在
敬称略



2. 理事・監事・評議員・最高顧問

[令和3年3月31日現在]

(敬称略)

理事長	内山田 竹 志	〔トヨタ自動車(株)〕	代表取締役会長
副理事長	田川 丈二	〔日産自動車(株)〕	専務執行役員 <small>（兼）執行役員</small>
理事	永塚 誠一	〔(社)日本自動車工業会〕	副会長・専務理事
理事	平井 敏文	〔(社)日本自動車販売協会連合会〕	特別参与
理事	木場 宣行	〔(社)日本自動車整備振興会連合会〕	専務理事
理事	島 雅之	〔(社)日本自動車連盟〕	専務理事
理事	上岡 一雄	〔(社)全国軽自動車協会連合会〕	専務理事
理事	伊東 祐次	〔(社)日本損害保険協会〕	常務理事
理事	長田 利彦	〔(公社)全国工業高等学校長協会〕	顧問
専務理事	上橋 義弘	〔(公財)日本自動車教育振興財団〕	事務局常勤
常務理事	有賀 弘潔	〔(公財)日本自動車教育振興財団〕	事務局常勤
			(以上11名)
監事	矢野 義博	〔(社)日本自動車工業会〕	理事・事務局長
監事	山崎 幸雄	〔山崎幸雄税理士事務所〕	代表
			(以上2名)
評議員	上村 肇	〔全国高等学校長協会〕	事務局 長
評議員	濱田 准一	〔全国総合学科高等学校長協会〕	理 事 長
評議員	佐々木 哲	〔全国自動車教育研究会〕	会 長
評議員	大山 敏	〔全国公民科・社会科教育研究会〕	会 長
評議員	柳田 昌宏	〔(社)日本自動車機械工具協会〕	会 長
評議員	武藤 孝弘	〔(社)日本中古自動車販売協会連合会〕	専務理事
評議員	一色 良太	〔(財)日本自動車研究所〕	代表理事・専務理事
評議員	山岡 正博	〔(社)日本自動車会議所〕	専務理事
評議員	波留 静哉	〔(財)日本自動車査定協会〕	専務理事
評議員	鈴木 欣也	〔(社)自動車公正取引協議会〕	専務理事
評議員	入野 泰一	〔日本自動車輸入組合〕	副理事長兼専務理事
評議員	佐々木 誠	〔(公財)自動車製造物責任相談センター〕	常務理事
評議員	吉田 量年	〔(社)日本自動車車体工業会〕	専務理事
評議員	西脇 尚澄	〔(財)自動車検査登録情報協会〕	専務理事
評議員	鎌田 聡	〔(公財)国際交通安全学会〕	専務理事
評議員	福田 安展	〔東京海上日動火災保険(株)〕	専務執行役員
評議員	水口 敦志	〔損害保険ジャパン日本興亜(株)〕	常務執行役員
評議員	奥田 尚也	〔三井住友海上火災保険(株)〕	常務執行役員
評議員	新納 啓介	〔あいおいニッセイ同和損害保険(株)〕	常務執行役員
評議員	寺谷 公良	〔本田技研工業(株)〕	執行職
評議員	小飼 雅道	〔マツダ(株)〕	代表取締役会長
			(以上21名)
最高顧問	豊田 章一郎		
最高顧問	小枝 至		

3. 会議記録

1) 決議の省略による書面での理事会

- (1) 議案 ①理事辞任につき後任候補者選任の件
②臨時評議員会の件
- (2) 提案日 令和2年4月7日
- (3) 決議のあったものとみなされる日 令和2年4月13日

2) 決議の省略による書面での評議員会

- (1) 議案 ①理事辞任につき後任者選任の件
- (2) 提案日 令和2年4月14日
- (3) 決議のあったものとみなされる日 令和2年4月23日

3) 決議の省略による書面での理事会（第22回 理事会）

- (1) 議案 ①令和元年度事業報告及び決算の件
②代表理事・業務執行理事等の選定の件
③第9回評議員会の件
- (2) 報告 ①令和2年度事業進捗状況の報告
- (3) 提案日 令和2年5月14日
- (4) 決議のあったものとみなされる日 令和2年5月21日

4) 決議の省略による書面での評議員会（第9回 定時評議員会）

- (1) 議案 ①令和元年度事業報告及び決算の件
②評議員の選任の件
- (2) 提案日 令和2年5月26日
- (3) 決議のあったものとみなされる日 令和2年6月8日

5) 決議の省略による書面での理事会

- (1) 議案 ①評議員辞任につき後任候補者選任の件
②理事辞任につき後任候補者選任の件
③臨時評議員会の件
- (2) 提案日 令和2年7月27日
- (3) 決議のあったものとみなされる日 令和2年8月19日

6) 決議の省略による書面での評議員会

- (1) 議案 ①評議員辞任につき後任者選任の件
②理事辞任につき後任者選任の件
- (2) 提案日 令和2年8月21日
- (3) 決議のあったものとみなされる日 令和2年9月14日

7) 第23回 理事会

- (1) 日時 令和3年3月17日(水) 10:30~11:30
- (2) 場所 芝パークホテル 別館ローズA
- (3) 報告 ①代表理事・業務執行理事の職務執行の状況報告
『令和2年度事業進捗状況について』並びに
『令和2年度資産運用状況及び令和3年度資産運用計画について』
- (4) 議案 ①令和3年度事業計画及び収支予算について
②剰余金解消計画について
③財団事務局職員の異動について
④今後の理事会・評議員会開催日程について

4. 委員会

1) 委員会の所管事項

(1) 企画委員会

理事会に提案する事項並びに理事会より委託を受けた事項。その他、財団事業運営の基本に関わる事項

(2) 審査委員会

定款第4条(1)に定める機材提供を中心とした自動車技術教育の支援事業のうち、実習用機材・機械・工具等の提供に関し、具体的な対象校・対象内容ならびに自動車技術教育の振興に資する全国規模の活動に対する助成について審査・選考する事項

(3) 事業委員会

定款第4条に定める事業の企画・立案・推進および調整に関する事項
事業委員会の任務を遂行するために下記の部会を設ける

①技術教育部会

定款第4条(1)に定める機材提供を中心とした自動車技術教育の支援事業に関する事項

②研修部会

定款第4条(2)に定める高等学校及び教諭を対象とした研修会の開催と講師派遣事業に関する事項

③調査普及部会

定款第4条(3)に定める国内外の交通実態に関する調査研究と情報提供事業、並びに同条(4)に定める自動車教育の普及事業に関する事項

2) 委員会委員

令和3年3月31日現在

(五十音順 敬称略)

(1) 企画委員会 (9名)

委員長	野一色 守	[トヨタ自動車(株)	渉外広報本部コーポレートコミュニケーショングループ担当部長]
副委員長	細野 和美	[日産自動車(株)	渉外部 担当部長]
委員	池田 毅	[三井住友海上火災保険(株)	理事自動車営業推進部長]
委員	生島 拓也	[損害保険ジャパン日本興亜(株)	自動車営業推進部長]
委員	久郷 浩	[マツダ(株)	東京総務部長]
委員	栃木 理江	[三菱自動車工業(株)	総務渉外部 担当マネージャー]
委員	中川 淳一	[本田技研工業(株)	渉外部 担当部長]
委員	山田 高裕	[あいおいニッセイ同和損害保険(株)	自動車保険部長]
委員	渡邊 崇志	[東京海上日動火災保険(株)	自動車営業開発部長]

(2) 審査委員会 (7名)

委員長	小山 実	[日本工業大学	前教授]
副委員長	上橋 義弘	[(公財)日本自動車教育振興財団	専務理事]
委員	加藤 秀次	[日本工業大学	特認教授]
委員	栗田 博康	[(公財)東京都中小企業振興公社	総合支援部企業人材支援課]
委員	鈴木 賢二	[(公社)全国工業高等学校長協会	事務局長]
委員	田中 照久	[(一社)日本自動車販売協会連合会	常務理事]
委員	野一色 守	[トヨタ自動車(株)	渉外広報本部コーポレートコミュニケーショングループ担当部長]

(3) 事業委員会 (7名)

委員長	田中 照久	[(一社)日本自動車販売協会連合会	常務理事]
副委員長	宇田川智弘	[(一社)日本損害保険協会	理事]
委員	海老澤 勲	[(一社)全国軽自動車協会連合会	管理部総務課長]
委員	柴田 年輝	[(一社)日本自動車連盟	交通環境部部長]
委員	鈴木 賢二	[(公社)全国工業高等学校長協会	事務局長]
委員	高橋 徹	[(一社)日本自動車整備振興会連合会	教育・技術部長]
委員	松本 行弘	[(一社)日本自動車工業会	参与・総合政策領域部長]

①技術教育部会（8名）

部会長	渡辺 朋栄	[三菱自動車工業(株) サービス本部サービスエンジニアリング部マネージャー]
副部長	久保田博文	[マツダ(株) 国内営業本部 法人営業部 アシスタントマネージャー]
委員	東 慎也	[トヨタ自動車(株) 国内サービス部 技術業務室 東京サービスグループ]
委員	阿部 徹	[日産自動車(株) TCSX 国内サービス部 サービス技術渉外]
委員	木村 壮一	[東京都立総合工科高等学校 機械・自動車科 教諭]
委員	齋藤 洋仁	[(-社)日本自動車機械工具協会 校正企画部 企画課 係長]
委員	杉野 栄一	[東京都立六郷工科高等学校 オートモビル工学科 教諭]
委員	田島 良英	[本田技研工業(株) 日本本部お客様部新機種サービスCS 研修課 課長]

②調査普及部会（8名）

部会長	橋本 勝也	[(-社)日本自動車会議所 理事]
副部長	津田 明子	[トヨタ自動車(株) 渉外広報本部 コーポレートコミュニケーショングループ 担当課長]
委員	奥 英昭	[(-社)日本損害保険協会 業務企画部啓発教育グループリーダー]
委員	金武 晃	[東京海上日動火災保険(株) 自動車営業開発部 部長]
委員	竹村 公一	[SOMPO リスクマネジメント(株) 自動車コンサルティング部 特命部長]
委員	仲 信之	[成蹊高等学校 教諭]
委員	光永日奈子	[三井住友海上火災保険(株) 損害サポート業務部自動車チーム 課長代理]
委員	宮崎三喜男	[東京都立国際高等学校 教諭]

③研修部会（8名）

部会長	上野 直昭	[(-社)日本自動車連盟 交通環境部 事業推進課長]
副部長	八木橋 稔之	[(-社)日本自動車販売協会連合会 法務部 部長]
委員	安部 敬	[東京都立小松川高等学校 公民科教諭]
委員	石井 隆也	[日産自動車(株) 日産横浜自動車大学校 校長]
委員	奥 英昭	[(-社)日本損害保険協会 業務企画部啓発教育グループリーダー]
委員	笠原 剛	[(-社)日本自動車整備振興会連合会 調査企画部部長代理]
委員	工藤 正行	[(-社)全国軽自動車協会連合会 二輪事業担当部長]
委員	松岡 誠	[本田技研工業(株) 経営企画統括部環境安全企画部渉外担当部長]

3) 委員会・部会 会議実績

(1) 企画委員会

①令和2年度第1回 令和2年5月12日(火) 15:00~15:40

- 議題 ①第22回理事会提案資料について
②第9回定時評議員会提案資料について

②令和2年度第2回 令和2年11月5日(木) 9:30~10:30

- 議題 ①令和2年度財団事業進捗状況について

③令和2年度第3回 令和3年3月9日(火) 15:00~16:00

- 議題 ①第23回理事会提案資料について

(2) 審査委員会

①第9回 令和2年8月3日(月) 10:00~11:30

- 議題 ・令和2年度自動車教育用「教材」支援事業の審査選考
(支援対象校及び支援内容の決定)
・助成先の決定

※上記委員会開催実績における開催回は、公益財団法人移行後(平成24年4月~)の通算回数を表記した。

(3) 事業委員会

①令和2年度第1回 令和2年11月5日(月) 11:00~12:00

- 議題 ①令和2年度財団事業進捗状況について

②令和2年度第2回 令和3年3月9日(火) 13:30~14:30

- 議題 ①令和2年度事業進捗状況及び令和3年度事業計画(案)について

(4) 技術教育部会

①令和2年度 第1回 書面による開催 (意見集約 5/15)

- 議題 ①令和元年度 自動車教育用教材活用状況について
②令和2年度 自動車教育用教材メニュー (案) について
③令和2年度 技術系講師派遣について

②令和2年度 第2回 令和2年 7月27日 (月) 15:30~17:00

- 議題 ①令和2年度 教材提供活動 応募状況について
②令和2年度 審査委員会 提案内容について
③令和2年度 技術系講師派遣応募・実施状況について

③令和2年度 第3回 書面による開催 (意見集約 10/23)

- 議題 ①令和2年度 技術教育支援事業の進捗について
②令和2年度 技術系講師派遣活動の進捗について

④令和2年度 第4回 令和3年 2月26日 (金) 15:00~16:30

- 議題 ①令和2年度 財団事業進捗及び令和3年度 事業計画 (案) について
②令和3年度 技術教育支援事業計画 (案) について
③令和3年度 技術系講師派遣活動計画 (案) について

(5) 調査普及部会

①令和2年度第1回 令和2年 10月30日 (金) 14:30~15:30

- 議題 ①令和2年度 調査研究事業の進捗状況について
②令和2年度 普及啓発事業の進捗状況について
③今後の運営体制について

②令和2年度第2回 令和3年 2月22日 (月) 15:00~16:00

- 議題 ①令和3年度 財団事業計画 (案) について
②令和3年度 調査研究事業計画 (案) について
③令和3年度 普及啓発事業計画 (案) について

(6) 研修部会

①令和2年度第1回 令和2年10月30日(金) 10:30～11:30

議題 ①令和2年度 研修事業の進捗状況について

②令和2年度第2回 令和3年2月26日(金) 13:30～14:30

議題 ①令和3年度 財団事業計画(案)について

②令和3年度 研修事業計画(案)について

5. 自動車教育推進協議会

各都道府県の自動車販売店協会、自動車整備振興会、日本自動車連盟支部、軽自動車協会、日本損害保険協会支部(一部地域は中古自動車販売協会を含む)により、47都道府県において自動車教育推進協議会が設置され、各県の高等学校を対象とした自動車教育の推進に取り組んでいる。

同推進協議会は独立した自主的組織として独自の活動に取り組む一方、全国組織である自動車教育財団と連携し、各都道府県における教材贈呈式及び教育懇談会の開催、研修会への専門講師派遣、自動車教育イベントへの協賛支援等に取り組んでいる。

令和2年度は、コロナ禍により教材贈呈式及び教育懇談会の開催は中止とした。また、自動車教育イベントも多くが中止となったことにより協賛支援は縮小となった。

自動車教育推進協議会 設置状況一覧表

令和3年3月31日現在

名称	設置年月日 (平成)	会長	事務局		
			事務局長	所在地 (連絡先)	
1 北海道自動車教育推進協議会	13.1.10	中島好美	福田昇	札幌市東区北28条東1-2-3	札幌自動車会館 (Tel. 011-753-5162)
2 青森県自動車教育推進協議会	8.5.17	小野大介	石川善孝	青森市奥野1-12-3	(Tel. 017-776-4211)
3 岩手県自動車教育推進協議会	14.3.20	千葉理平	宮野和之	紫波郡矢巾町流通センター南2-8-3	(Tel. 019-637-2881)
4 宮城県自動車教育推進協議会	12.11.1	後藤誠	菊池憲満	仙台市宮城野区扇町3-3-10	宮城県交通会館 (Tel. 022-232-1571)
5 福島県自動車教育推進協議会	12.12.1	金子與志人	菊地邦幸	福島市吉倉字名倉1-1	(株)福島自販会館 (Tel. 024-546-1664)
6 秋田県自動車教育推進協議会	12.11.1	辻良之	佐々木俊幸	秋田市八橋大畑2-12-55	(Tel. 018-862-1117)
7 山形県自動車教育推進協議会	12.11.1	小関眞一	鏡道宏	山形市大字漆山字行段1422	(Tel. 023-686-4521)
8 新潟県自動車教育推進協議会	13.11.1	遠藤佳彦	小林正美	新潟市中央区東出来島11-16	新潟県自動車会館 (Tel. 025-285-6286)
9 (一社)長野県自動車販売店協会	13.5.23	宇都宮進一	五明利雄	長野市大字高田字五分一沖679-10	長野県自動車会館 (Tel. 026-226-5416)
10 茨城県自動車教育推進協議会	14.10.1	幡谷定俊	市川昌幸	水戸市住吉町292-5	茨城県自動車会館 (Tel. 029-247-4860)
11 栃木県自動車教育推進協議会	12.10.25	小平雅久	鈴木忠明	宇都宮市今宮2-4-6	栃木県自動車会館 (Tel. 028-658-8811)
12 群馬県自動車教育推進協議会	14.9.1	大山駿作	星野朗	前橋市野中町564	群馬自販会館 (Tel. 027-261-0830)
13 埼玉県自動車教育推進協議会	18.10.1	茂木喜明	塩原良二	さいたま市西区大字中釘2255	(株)埼玉自販会館 (Tel. 048-623-1211)
14 千葉県自動車教育推進協議会	14.4.1	出野祥平	齊藤充弘	千葉県美浜区新港207	(Tel. 043-242-3321)
15 東京都自動車教育推進協議会	17.11.18	加藤和夫	高橋哲哉	品川区西五反田4-32-9	東京日産西五反田ビル1号館3F (Tel. 03-3491-8241)
16 神奈川県自動車教育推進協議会	14.10.1	上野健彦	大蔵幸雄	横浜市都筑区池辺町3663	神奈川県自販会館 (Tel. 045-933-3626)
17 山梨県自動車教育推進協議会	15.5.30	佐々木宏明	輿石光彦	笛吹市石和町唐柏1000-7	山梨県自動車販売店会館 (Tel. 055-263-3001)
18 富山県自動車教育推進協議会	12.12.1	品川祐一郎	森岡富士夫	富山市新庄町字馬場18-8	富山県自販会館 (Tel. 076-425-8353)
19 石川県自動車教育推進協議会	12.12.1	要明英二	松田等	金沢市直江東2-122-1	(Tel. 076-238-5177)
20 福井県自動車教育推進協議会	12.12.6	浮田啓三	安藤和博	福井市西谷1-1401	福井県自動車会館 (Tel. 0776-34-1622)
21 岐阜県自動車教育推進協議会	17.10.24	加藤元康	藤川正人	岐阜市日置江2648-2	岐阜県自動車会館 (Tel. 058-279-3761)
22 静岡県自動車教育推進協議会	16.2.18	芹澤正明	古屋勝治	静岡市駿河区国吉田2-4-35	静岡県自販会館 (Tel. 054-261-2177)
23 愛知県自動車教育推進協議会	15.10.1	小栗一朗	伊藤敏男	名古屋市中区昭和橋通4-8-2	愛知県自販会館 (Tel. 052-353-6161)
24 三重県自動車教育推進協議会	13.3.10	岩井純朗	福田泰尚	津市雲出長鞆字穴ノ割1190-1	三重県自動車会館 (Tel. 059-234-4567)
25 滋賀県自動車教育推進協議会	15.2.1	山中隆太郎	井戸木亘	守山市木浜町2299-12	滋賀県自販会館 (Tel. 077-585-7292)
26 京都府自動車教育推進協議会	14.9.1	澤井孝之	小林寛二	京都市伏見区竹田町代町51-5	京都自動車会館 (Tel. 075-671-6121)
27 大阪府自動車教育推進協議会	18.11.1	久保尚平	大塚啓次	寝屋川市高宮栄町13-1	(Tel. 072-821-5522)
28 兵庫県自動車教育推進協議会	13.7.1	瀧川高章	木村淳三	神戸市東灘区魚崎町33	兵庫県自動車会館 2F (Tel. 078-441-1501)
29 奈良県自動車教育推進協議会	15.3.1	菊池攻	辻隆範	大和郡山市志保町比呂981-8	(株)奈良県自動車会館 (Tel. 0743-56-8458)
30 和歌山県自動車教育推進協議会	12.11.1	中谷久生	大蔵留治	和歌山市湊1106	和歌山県自動車会館 (Tel. 073-422-2027)
31 鳥取県自動車教育推進協議会	15.4.14	米原良	但住和雄	鳥取市丸山町246-1	(Tel. 0857-24-6171)
32 島根県自動車教育推進協議会	14.11.1	野々村健造	久保田茂実	松江市馬潟町43-4	(Tel. 0852-37-0044)
33 岡山県自動車教育推進協議会	14.11.1	梶谷俊介	谷本博志	岡山市北区富吉5301-8	(株)岡山県自動車会館2F (Tel. 086-259-3000)
34 広島県自動車教育推進協議会	11.9.1	岡本精二	村上弘人	広島市西区福野町4-13-13-3	広島県自動車会館 (Tel. 082-232-4418)
35 山口県自動車教育推進協議会	11.3.1	上野龍之介	藤原裕宜	山口市葵1-5-58	山口県自動車会館 (Tel. 083-922-0909)
36 徳島県自動車教育推進協議会	8.12.16	藤村実	武田耕二	徳島市心神町心神産業団地1-6	徳島県自動車会館 (Tel. 088-641-2665)
37 香川県自動車教育推進協議会	17.1.1	星合貴彦	一宮軌善	高松市香西東町278-1	(Tel. 087-881-4996)
38 愛媛県自動車教育推進協議会	14.9.1	岡豊	竹葉晃	松山市森松町1075-2	(Tel. 089-956-2747)
39 高知県自動車教育推進協議会	15.7.29	佐藤誠三	秋山教二郎	高知市大津乙1879-5	高知県自動車会館 (Tel. 088-866-6000)
40 福岡県自動車教育推進協議会	13.12.1	金野誠	川原芳昭	福岡市東区千早3-9-23	福岡交通会館 (Tel. 092-681-5963)
41 佐賀県自動車教育推進協議会	13.8.1	前田博憲	本村修紹	佐賀市若楠2-7-1	佐賀県自販会館 (Tel. 0952-31-1335)
42 長崎県自動車教育推進協議会	15.2.1	円田浩司	平新一郎	長崎市中里町1576-7	長崎県自販連会館 (Tel. 095-839-2611)
43 熊本県自動車教育推進協議会	12.11.1	齊藤直信	松本伸二	熊本市東区東町4-14-8	熊本県自動車会館 (Tel. 096-365-0638)
44 大分県自動車教育推進協議会	10.6.15	橋本仁	岩尾豊樹	大分市大津町3-4-13	大分交通会館1F (Tel. 097-558-7791)
45 宮崎県自動車教育推進協議会	15.7.11	佐土嶋恒夫	中武光博	宮崎市大字本郷1字新尾2735-25	宮崎県自販会館 (Tel. 0985-51-8255)
46 鹿児島県自動車教育推進協議会	14.3.1	諏訪秀治	町田昇二	鹿児島市谷山港2-4-9	鹿児島県自動車会館 (Tel. 099-262-0011)
47 沖縄県自動車教育推進協議会	8.2.14	野原朝昌	平良幸生	浦添市港川512-8	沖縄県自動車会館 (Tel. 098-877-5225)

【Ⅲ】事業活動

1. 自動車技術教育支援事業

1) 機材提供活動

過去二年で大幅な改定を実施してきた自動車技術教育用教材メニューは、一部の改善にとどめ、過去最大数の30メニューとした。

公募は、14都道府県293校（全国工業高等学校長協会、全国総合学科高等学校長協会または全国自動車教育研究会に加盟している高校）を対象に実施し、前回応募がなかった鳥取、島根を含め、前回は4校上回る91校から応募申請があった。

これらの応募申請について、8月3日に開催した審査委員会での厳正な審査・選考の結果、14都道府県、91校の全ての高校に第一希望の自動車技術教育用教材の提供を決定した。

なお、これらの教材の提供は、10月～2月にかけて各高校へ発送を行い、次年度以降、各校の教育現場にて活用いただく予定である。

(1) 令和2年度 自動車技術教育用教材メニュー 及び 提供校数

区分	No.	教材名	提供校数
視 聴 覚 教 材	1	自動車の基礎・電気	1
	2	自動車の基礎とエンジンの作動	6
	3	動力伝達・駆動・制御・走行装置の作動	2
	4	自動車の電気・電子技術/モーター基礎実験セット	1
	5	ハイブリッド自動車と充電装置	2
	6	DVD&デジビデオ『自動車のメカニズム』	0
	7	動く掛図 4サイクル・2サイクル	3
	8	説明模型 4サイクルガソリンエンジン	1
	9	ハイブリッドシステム 模型	1
	10	駆動用ギヤ学習セット	2
	11	模型で学ぶ センサー技術（自動走行）	6
	12	サスペンション 模型	0
	13	四輪ホイールアライメントモデル	0
		視聴覚教材 計	25
初 級 教 材	14	分解組立用エンジン 〈汎用126cc〉	26
	15	分解組立用キャブレターエンジン 660cc	1
	16	分解組立用電子制御エンジン 軽自動車660cc	3
	17	分解組立用電子制御エンジン 小型車1300cc	5
	18	実習用工具セット	6
	19	実習用工具 トルクレンチ	7
	20	急速充電器	0
	21	低床型手動ジャッキ 足踏付 2t	2
	22	エンジンスタンド 〈簡易型〉	1
			初級教材 計
中 級 教 材	23	トレーニングサーキット	2
	24	燃料電池実験キット	0
	25	燃料電池システム 〈エコラン大会用〉	0
	26	ビデオスコープ	1
	27	灯火回路実習装置	4
		中級教材 計	7
上 級 教 材	28	実車 〈中古車〉	1
	29	エンジン実習装置	3
	30	スキャンツール 〈外部故障診断装置〉	4
		上級教材 計	8
		合計	91

(2) 応募及び審査結果

公募地域 (B地区)	北海道、栃木県、埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県、富山県、石川県、福井県、鳥取県、岡山県、島根県、広島県、山口県 合計14都道県 (対象校は293校)	
応募校数	14都道県、91校	
支援校数	14都道県、91校 (詳細は18頁の一覧表参照)	累計支援校数 2,101校 (平成3年からの累計数)

(3) 自動車教育用教材活用報告書について

令和元年度に教材提供を受けた高校を対象に、令和2年度における自動車教育用教材の活用状況を集約した。技術教育部会にて報告し、今後の活動の参考資料とした。

学習区分	No.	教材名	提供校数	年間総使用 (1校あたり)	
				活用生徒数	使用日数
視聴覚教材	1	自動車の基礎・電気	1	240	8
	2	自動車の基礎とエンジンの作動	8	721	113
	3	動力伝達・駆動・制御・走行装置の作動	3	165	31
	4	自動車の電気・電子技術/モーター基礎実験セット	2	113	12
	5	eTOOLBOXハイブリッド自動車編	1	59	15
	6	DVD&デジビデオ『自動車のメカニズム』(新設)	1	23	6
	7	動く掛図 4サイクル・2サイクル	2	103	11
	8	説明模型 4サイクルガソリンエンジン	1	120	35
	9	ハイブリッドシステム 模型(新設)	5	303	64
	10	駆動用ギヤ学習セット	1	103	45
	11	模型で学ぶ センサー技術(自動走行)(新設)	2	79	22
	12	サスペンション 模型(新設)	1	41	3
	13	四輪ホイールアライメントモデル(新設)	1	26	30
初級教材	14	分解組立用エンジン <汎用126cc>(変更)	18	699	309
	15	分解組立用キャブレターエンジン 660cc	0	0	0
	16	分解組立用電子制御エンジン 軽自動車660cc	3	368	91
	17	分解組立用電子制御エンジン 小型車1300cc	4	140	125
	18	実習用工具セット	10	533	260
	19	実習用工具 トルクレンチ	2	64	39
	20	急速充電器	3	129	39
	21	低床型手動ジャッキ 足踏付 2t	1	24	3
	22	エンジンスタンド <簡易型>	3	111	70
中級教材	23	トレーニングサーキット	1	162	150
	24	燃料電池実験キット	0	0	0
	25	燃料電池システム <エコラン大会用>	3	300	85
	26	ビデオスコープ	0	0	0
	27	灯火回路実習装置(変更)	1	79	12
上級教材	28	実車 <中古車>	7	590	417
	29	エンジン実習装置	3	207	79
	30	スキャンツール <外部故障診断装置>(変更)	8	508	144
総計			96		

2) 教員支援活動

教材提供活動の一環として、汎用エンジン・分解組立用エンジン教材を提供した高校を対象に、授業での有効活用と教育効果を高めてもらうことを目的に「フォロー指導」を実施した。

汎用エンジンを提供した26校に対しては、教材納入時の10月～11月に同エンジン製造メーカーの専門家が各提供校へ訪問し、エンジン教材の活用方法や安全管理等に関する指導教諭へのアドバイスをを行った。

また、分解組立用エンジンを提供した9校に対しては、教材納入時期に合わせて整備マニュアルと専門指導員による指導内容を撮影・編集した「分解・組立解説 DVD」を提供した。

(1) 訪問指導実施校

	学校名	フォロー指導日
1	北海道小樽未来創造高等学校	10月14日
2	北海道滝川工業高等学校	10月14日
3	北海道剣淵高等学校	10月15日
4	北海道北見工業高等学校	10月12日
5	北海道紋別高等学校	10月12日
6	北海道室蘭工業高等学校	10月13日
7	栃木県立宇都宮工業高等学校	10月13日
8	栃木県立矢板高等学校	10月13日
9	千葉県立東総工業高等学校	9月29日
10	東京都立蔵前工業高等学校	10月20日
11	東京都立墨田工業高等学校 定時制	10月20日
12	東京都立総合工科高等学校	10月16日
13	東京都立田無工業高等学校	10月16日
14	神奈川県立神奈川工業高等学校	10月8日
15	神奈川県立向の岡工業高等学校	10月20日
16	神奈川県立小田原城北工業高等学校	10月8日
17	福井県立奥越明成高等学校	10月16日
18	福井県立武生工業高等学校	10月16日
19	鳥取県立鳥取湖陵高等学校	11月12日
20	鳥取県立米子工業高等学校	10月7日
21	島根県立出雲工業高等学校	10月7日
22	島根県立江津工業高等学校	10月23日
23	岡山県立倉敷工業高等学校	10月2日
24	岡山県立水島工業高等学校	10月2日
25	岡山県立笠岡工業高等学校	10月9日
26	倉敷市立工業高等学校 定時制	10月2日

(2) 「分解・組立 解説 DVD」の提供校

	学校名	提供日
1	北海道札幌工業高等学校	12月15日
2	東京都立墨田工業高等学校	11月10日
3	東京都立六郷工科高等学校	10月21日
4	神奈川県立神奈川総合産業高等学校	9月7日
5	島根県立松江工業高等学校	10月12日
6	島根県立松江工業高等学校 定時制	10月12日
7	山口県立岩国工業高等学校	12月8日
8	山口県立徳山商工高等学校	9月7日
9	山口県立美祢青嶺高等学校	9月14日

3) 協賛支援活動

協賛支援（助成金）活動は、コロナ禍における活動の中止により、公募期間に申請がなかった。

4) 交流促進活動

自動車技術教育用教材の提供校を対象に実施している教材贈呈式及び教育懇談会はコロナ禍により開催を断念し、これに代わる活動として、教材提供校に対して自動車技術教育の現状と課題に関するアンケートを実施し、集約結果を対象地域の自動車教育推進協議会（自動車関連団体）と共有した。また、対象地域の自販連各県支部に「インターンシップ等相談窓口一覧」作成交付を依頼し、教材提供校と各地域の教育委員会に提供し高等学校と自動車関係団体との自動車技術教育に関する交流促進と自動車教育の普及促進を図った。

令和2年度 自動車教育用教材提供校一覧表

都道府県名	学校名	機材名	都道府県名	学校名	機材名
北海道	1 北海道札幌工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン 小型車1300cc Aコース	富山	1 富山県立魚津工業高等学校	視聴覚教材 自動車の基礎とエンジンの作動
	2 北海道札幌琴似工業高等学校	灯火回路実習装置		2 富山県立滑川高等学校	視聴覚教材 自動車の基礎とエンジンの作動
	3 北海道函館工業高等学校	エンジンスタンド (簡易型)		3 富山県立上市高等学校	実習用工具セット
	4 北海道小樽未来創造高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc) Cコース		4 富山県立富山工業高等学校	スキャンツール (外部故障診断装置)
	5 北海道美唄尚栄高等学校	模型で学ぶ センサー技術 (自動走行)	石川	1 石川県立羽咋工業高等学校	視聴覚教材 動力伝達・駆動・制御・走行装置の作動
	6 北海道滝川工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc) Aコース		福井	1 福井県立科学技術高等学校
	7 北海道富良野緑峰高等学校	視聴覚教材 ハイブリッド自動車と充電装置	2 福井県立坂井高等学校		実車 (中古車) ①
	8 旭川実業高等学校	スキャンツール (外部故障診断装置)	3 福井県立奥越明成高等学校		分解組立用エンジン (汎用126cc) Aコース
	9 北海道剣淵高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc) Cコース	4 福井県立武生工業高等学校		分解組立用エンジン (汎用126cc) Bコース
	10 北海道北見工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc) Aコース	5 福井県立敦賀工業高等学校		視聴覚教材 自動車の電気・電子技術/モーター基礎実験セット
	11 北海道紋別高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc) Cコース	6 福井県立若狭東高等学校		模型で学ぶ センサー技術 (自動走行)
	12 北海道帯広工業高等学校	実習用工具セット	鳥取	1 鳥取県立鳥取湖陵高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc) Aコース
	13 北海道清水高等学校	模型で学ぶ センサー技術 (自動走行)		2 鳥取県立米子工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc) Aコース
	14 北海道室蘭工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc) Bコース		3 鳥取県立境港総合技術高等学校	トレーニングサーキット
		4 鳥取県立日野高等学校		視聴覚教材 自動車の基礎とエンジンの作動	
栃木	1 栃木県立宇都宮工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc) Aコース	島根	1 島根県立松江工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン 軽自動車660cc Bコース
	2 栃木県立宇都宮工業高等学校 定時制	視聴覚教材 動力伝達・駆動・制御・走行装置の作動		2 島根県立松江工業高等学校 定時制	分解組立用電子制御エンジン 軽自動車660cc Bコース
	3 栃木県立今市工業高等学校	実習用工具 トルクレンチ Aコース		3 島根県立出雲工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc) Aコース
	4 栃木県立佐野松桜高等学校	実習用工具セット		4 島根県立江津工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc) Bコース
	5 栃木県立足利工業高等学校	視聴覚教材 自動車の基礎とエンジンの作動	岡山	1 岡山県立岡山工業高等学校	実習用工具 トルクレンチ Cコース
	6 栃木県立真岡工業高等学校	実習用工具 トルクレンチ Aコース		2 岡山県立東岡山工業高等学校	駆動用ギヤ学習セット
	7 栃木県立矢板高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc) Aコース		3 岡山県立備前緑陽高等学校	低床型手動ジャッキ 足踏付 2t
	8 作新学院高等学校	灯火回路実習装置		4 岡山県立倉敷工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc) Aコース
埼玉	1 埼玉県立川越工業高等学校	模型で学ぶ センサー技術 (自動走行)		5 岡山県立水島工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc) Aコース
	2 埼玉県立川口工業高等学校	駆動用ギヤ学習セット		6 岡山県立笠岡工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc) Aコース
	3 埼玉県立浦和工業高等学校	動く掛図 4サイクル・2サイクル		7 岡山県立勝間田高等学校	スキャンツール (外部故障診断装置)
	4 埼玉県立久喜工業高等学校	説明模型 4サイクルガソリンエンジン		8 玉野市立玉野商工高等学校	模型で学ぶ センサー技術 (自動走行)
	5 埼玉県立春日部工業高等学校	実習用工具 トルクレンチ Cコース		9 倉敷市立工業高等学校 定時制	分解組立用エンジン (汎用126cc) Bコース
	6 埼玉県立熊谷工業高等学校	動く掛図 4サイクル・2サイクル		10 岡山商科大学附属高等学校	灯火回路実習装置
	7 埼玉県立進修館高等学校	視聴覚教材 自動車の基礎・電気		11 おかやま山陽高等学校	実習用工具セット
千葉	1 千葉県立下総高等学校	エンジン実習装置	広島	1 広島県立呉工業高等学校	視聴覚教材 ハイブリッド自動車と充電装置
	2 千葉県立東総工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc) Cコース		2 広島市立広島工業高等学校	灯火回路実習装置
東京	1 東京都立葛西工業高等学校	低床型手動ジャッキ 足踏付 2t	山口	1 山口県立岩国工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン 小型車1300cc Bコース
	2 東京都立蔵前工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc) Aコース		2 山口県立田布施農工高等学校	ビデオスコープ
	3 東京都立墨田工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン 小型車1300cc Aコース		3 山口県立徳山商工高等学校	分解組立用電子制御エンジン 小型車1300cc Bコース
	4 東京都立墨田工業高等学校 定時制	分解組立用エンジン (汎用126cc) Bコース		4 山口県立防府商工高等学校	実習用工具 トルクレンチ Aコース
	5 東京都立総合工科高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc) Aコース		5 山口県立美祿青嶺高等学校	分解組立用電子制御エンジン 軽自動車660cc Aコース
	6 東京都立総合工科高等学校 定時制	エンジン実習装置		6 山口県立萩商工高等学校	実習用工具セット
	7 東京都立田無工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc) Bコース		7 宇部鴻城高等学校	スキャンツール (外部故障診断装置)
	8 東京都立多摩工業高等学校	ハイブリッドシステム 模型		8 下関国際高等学校	エンジン実習装置
	9 東京都立練馬工業高等学校	視聴覚教材 自動車の基礎とエンジンの作動			
	10 東京都立六郷工科高等学校	分解組立用電子制御エンジン 小型車1300cc Aコース			
	11 東京工業大学附属科学技術高等学校	模型で学ぶ センサー技術 (自動走行)			
	12 大森学園高等学校	視聴覚教材 自動車の基礎とエンジンの作動			
神奈川	1 神奈川県立神奈川工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc) Cコース	<都道府県別内訳>		
	2 神奈川県立神奈川工業高等学校 定時	実習用工具セット	北海道 14校 栃木 8校 埼玉 7校 千葉 2校 東京 12校 神奈川 8校 富山 4校		
	3 神奈川県立向の岡工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc) Aコース	石川 1校 福井 6校 鳥取 4校 島根 4校 岡山 11校 広島 2校 山口 8校		
	4 神奈川県立機須賀工業高等学校	動く掛図 4サイクル・2サイクル			
	5 神奈川県立平塚工科高等学校	実習用工具 トルクレンチ Aコース			
	6 神奈川県立藤沢工科高等学校	トレーニングサーキット			
	7 神奈川県立小田原城北工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc) Aコース			
	8 神奈川県立神奈川総合産業高等学校	分解組立用キャブレターエンジン 660cc			

2.調査研究事業

1) 調査活動

高校生・先生方のクルマに対する関心高揚や理解向上を図るべく、「交通」「環境」「交通安全」の3テーマを軸に、国内外の交通調査等を実施し、情報収集とノウハウの蓄積に努めた。

(1) 国内調査の実施

国内の交通事情調査を2回実施した。

第1回目は、カーシェアリングの多様化において象徴的な動向である個人間カーシェアリングについて、10月に東京都の(株)DeNA SOMPO Mobilityにて取材を行った。個人間カーシェアの利用者の特徴として、20代から30代前半での男性が9割を占め、自身の活動や状況に応じてクルマを使い分けている。クルマ共有の動きは個人だけでなく、企業や自治体にも広がっている。背景には、クルマの購入や維持にかかる費用負担を減らしたい、という保有者側の強い意向がある。カーシェアリングの普及は、「所有」から「共有」へという社会の意識変化を反映したものであり、保有するクルマを資産として有効活用したいとのニーズの高まりもあり、今後も色々な形のカーシェアサービスの展開が見込まれる。

第2回目は、自治体として初めて自律走行バスの運行を開始した茨城県境町にて3月に取材を行った。同町内には鉄道駅が無く、周辺都市に向かうには最寄りのJRや私鉄の駅まで30~40分間バスに乗りしなければならない、マイカーがなければ生活できない地域。高齢化率上昇やバスの運転手減少もあり、地域の移動手段確保のソリューションとして自律走行バスの運行に目を付け、2019年末より準備を開始し、2020年11月に無料運行を開始した。同バスの運行開始にあたり、停留所スペースとして民地を無償貸与したり、或いはルート上に路上駐車をしないなど、これまでは住民の好意的な協力・支援のもとで実現しているが、コロナ禍の影響もあり利用者は少ない。同町では5年間のプロジェクトとして、ルート拡大も予定しているが、持続可能性ある高齢者向けモビリティ確保のためには、自律走行バスのみならず、一人乗り電動カートなどのスローモビリティも含めた交通体系も検討する必要があるのではないかと。

【国内調査の概要】

	第1回目	第2回目
日程	10月15日(木)	3月12日(金)
目的	クルマに対する意識が変わりつつある昨今、カーシェアを利用するユーザーが拡大。マイカーを貸し借りする個人間カーシェアも注目を集めてきていることを踏まえ、今後も多様化が見込まれるカーシェアの可能性を探る。	自治体で初めて茨城県境町で自律走行バスの運行がスタート。ルートが決まっているバス運行の自動化は、過疎化・高齢化対策として有効とされるが、当該事業の持続可能性や課題への対応を踏まえその将来性を探る。
調査先	東京都	茨城県
調査の様子	 <p>▲個人間カーシェアサービスのヘビーユーザー</p>	 <p>▲自治体として初めて運行開始した自律走行バス</p>

(2) コロナ禍での海外の新たな動きについて情報収集

令和2年度はコロナ禍で海外調査を中止したが、コロナ禍での社会・経済活動の変化がクルマの使い方や楽しみ方にも及んでいる海外の交通事情の一例として、ドイツハンブルクでのドライブインコンサートに着目。7月に旅行業者を介し、現地担当者から関連情報・データを収集した。

新型コロナウイルス感染拡大の状況下でも「3密」にあたらず、エンタテインメントを楽しむことから、世界的にドライブインシアター方式のイベントが注目されるようになった。ハンブルクでは、コロナ禍で稼働していない港内にある大型駐車場がライブコンサート会場となった。周りに住宅地がなく、コンサートの音の問題も生じないことがその理由。600台のクルマ、2000人の観衆が集まり、ウィンカー、ヘッドライト等、クルマの各装備をアーティストとのコミュニケーションツール代わりにしながら、ライブコンサートならではの一体感を堪能していた。

【海外 最新動向の情報収集 概要】

日 程	7 月
目 的	コロナ禍での社会・経済活動の変化が、クルマの使い方や楽しみ方にも及んでいる事例を把握する。
調査先	ドイツ ハンブルク
調査の様子	 <p>▲6月に独ハンブルクで行われたドライブインコンサートの模様</p>

2) 教材作成活動

(1) 動画の作成

国内調査や海外の最新動向に関する情報収集結果については、財団の調査普及部会や企画委員会・事業委員会などで報告するとともに、動画化した上で、6月に新設した財団の動画学習サイト『早わかり！クルマ塾』に掲載した。

また同サイト向けコンテンツとして、「自動車産業の歴史と現状」、「自動車・自転車の交通安全」、「最新のクルマ・交通情報」などをテーマとした計21本を制作し、公開した。



▲動画『自動車誕生前史』より

(2) 副教材の作成・提供

① ”「公共」副教材2021”を新規に制作、ウェブサイトで公開

環境、交通インフラ、交通安全など、現代社会において重要な6つの課題・テーマで、高校生にとって身近に感じられる事例を交えて構成（8ページ/テーマ）。主権者として自らどう考え、行動するかについて議論する材料としての活用を促している。本教材の制作においては、より有用な内容とすべく、高等学校の先生方に参画いただいた。

尚、令和3年度は今回制作した副教材に対するアンケート結果などを基に、改訂版の制作を予定している。



▲ ”「公共」副教材2021”ウェブサイト

② 既存副教材のPDF版制作・公開等

既存の『持続可能な社会づくりと自動車交通』および『クルマを通じて社会を考える』については、コロナ禍でのリモート授業等で活用し易いよう、PDF版を制作し、財団ウェブサイトで公開した。

上述副教材については『自転車の交通安全』とあわせ、ホームページやJAEF研修会などで告知・提供を行なった。

3. 研修事業

1) 財団研修活動

文部科学省の後援及び各高等学校教育関係団体から協賛を得て、「交通安全」を研修テーマに JAEF 研修会（高等学校の教諭を対象に財団が主催する研修会）を、東京で1回開催した。高等学校教諭 17 名が参加し、参加者からは大変高い評価をいただくことができた。（参加者アンケートの「大変良い」(64.3%)と「良い」(35.7%)の合計の割合は100%)
なお、コロナ禍の影響で東京での研修会に参加できない教諭向けにビデオ録画を行い、財団ホームページに掲載し動画を視聴した教諭が 11 名いた。

なお、平成 4 年から開催している同研修会の累計開催回数は 120 回、延べ参加者は 4,605 名となった。

【令和 2 年度 J A E F 研修会開催実績】

実施日	会場	講演テーマ、講師及び見学施設	参加人数
8月20日 (木)	日本自動車会館 くるまプラザ会議室 (東京都港区)	【講演①】「自転車の安全利用のために」 講師：一般社団法人 全日本交通安全協会 参与 長嶋 良 氏 【講演②】「カラダ、ココロ、まち（地球）に効く自転車」 講師：サイクルライフナビゲーター 絹代 氏	会場参加： 17 名 動画視聴： 11 名
合 計			28 名

2) 講師派遣活動

学校関係団体が主催する研修会、及び高等学校が生徒を対象に開催する講習会等への講師派遣活動について、例年どおり全国公募を実施した。講師派遣メニューでは、自動車技術系と交通社会系からなる 17 メニューを用意した。また、これまで前年度 2 月末に募集開始していたが、高等学校からの要望を受け、前年度 12 月末に早出しした。その結果、前年度を大きく上回るペースで申し込みが来たものの、コロナ禍により 192 回のキャンセルが発生し、213 回の実施にとどまった。参加人数は 61,666 名となった。

213 回の内訳は、区分別には自動車技術教育 16 回、「環境技術」・「交通技術」5 回、交通安全 192 回だった。

講師は研修テーマに合わせて、関係団体・企業の専門家等を派遣しているが、本年度は 213 回中 208 回について日本自動車連盟支部、日本損害保険協会支部、自動車整備振興会、自動車販売会社といった地元講師の協力を受けた。（詳細は【資料 1】を参照）

【令和2年度講師派遣メニューと派遣件数】

区分	ジャンル	研修メニュー	派遣講師 (派遣団体・企業)	派遣件数 (回)	参加人数
自動車技術教育	自動車の最新技術 〔講演型〕	① トヨタ・ハイブリッド車について	トヨタ系ディーラー	4	197
		② 日産・電気自動車について	日産系ディーラー	6	262
		③ ホンダ・ハイブリッド車について	ホンダ系ディーラー	2	72
		④ マツダ・SKYACTIV エンジンについて	マツダ	3	108
		⑤ 三菱・プラグインハイブリッド車について	三菱自動車工業	0	0
	自動車の整備技術 〔体験型〕	⑥ ガソリンエンジンの分解・組立	整備振興会	1	11
		⑦ トランスミッションの分解・組立	整備振興会	0	0
		⑧ 電子制御エンジンの構造と点検・整備	整備振興会	0	0
自動車技術教育 計				16	650
交通社会教育	環境技術	⑨ 地球温暖化防止と自動車技術	自動車関係団体他	3	150
	交通技術	⑩ 交通技術と社会のあり方(自動運転技術の現状と方向性)	自動車関係団体他	1	90
		⑪ 交通技術と社会のあり方(自動運転と紛争解決)	自動車関係団体他	1	61
	交通安全	⑫ ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟	51	15,761
		⑬ 自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟	62	20,864
		⑭ 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	15	2,167
		⑮ 交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会	12	2,943
⑯ 自転車を取り巻くリスクとその責任		日本損害保険協会	47	18,892	
⑰ 二輪車(バイク)の交通安全 ～高校生のための Safety Riding	日本二輪車普及安全協会	5	88		
交通社会教育 計				197	61,016
全体 合計				213	61,666

4. 普及啓発事業

1) 普及啓発活動

(1) 動画学習サイト『早わかり！クルマ塾』の新設

高校教諭を対象とする普及啓発活動の一環として公開してきた Web マガジン『Traffi-Cation』に代え、高校生を含む幅広い閲覧者・視聴者に理解していただけるよう動画学習サイト『早わかり！クルマ塾』を新設した。以下 21 本のコンテンツを制作し、同サイトに掲載した。



▲「早わかり！クルマ塾」動画サイト画面

【『早わかり！クルマ塾』コンテンツ掲載状況】

※令和3年3月末現在

	タイトル	公開日
「クルマのまなび舎」	<1> 『自転車の交通安全』	令和2年6月30日
	<2> 『自動車誕生前史』	8月25日
	<3> 『自動車の誕生』	9月14日
	<4> 『アメリカ合衆国における自動車の大衆化』	9月29日
	<5> 『日本における自動車の誕生と大衆化』	10月9日
	<6> 『ものづくり日本を支える自動車産業』	10月20日
	<7> 『日本における交通事故との闘い』	11月19日
	<8> 『交通事故削減に向けた最近の取り組み(1) ～歩行者保護のための安全技術～』	12月2日
	<9> 『交通事故削減に向けた最近の取り組み(2) ～自動車乗用者保護のための安全技術～』	12月10日
「クルマ何でも情報館」	<10> 『自転車事故に備える保険の加入義務化』	令和2年6月30日
	<11> 『コロナ禍で自転車通勤は増えるか』	7月15日
	<12> 『あおり運転の厳罰化 自転車も対象！』	7月22日
	<13> 『コロナ禍で生まれたクルマの新たな楽しみ方』	8月27日
	<14> 『歩車分離式信号のある交差点の渡り方』	10月29日
	<15> 『多様化するカーシェアサービス ～個人間でもカーシェアリング～』	12月16日
	<16> 『自動運転とは？ 社会はどう変わる？（乗用車編）』	令和3年2月5日
	<17> 『自動運転の最新技術（乗用車編）』	2月10日
	<18> 『自動運転 ドライバーが意識すべきこと ／今後の課題（乗用車編）』	2月17日
	<19> 『自動運転とは？ 社会はどう変わる？（商用車編）』	3月2日
	<20> 『自動運転の最新技術（商用車編）』	3月9日
	<21> 『自動運転 ドライバーが意識すべきこと ／今後の課題（商用車編）』	3月16日

(2) メールマガジンによる情報提供

高校教諭等への情報提供活動として、メールマガジンを配信。当財団の活動状況、クルマや交通安全に関するトピックス等をテーマに、4月より合計50回発信した。3月末までの登録者数は約370名。



▲メールマガジン画面

2) 広域普及啓発活動

(1) マスコミとのダイレクトコミュニケーション活動

・令和3年度事業計画(案)のブリーフィング

メディアの有する情報・意見を把握することで、より効果的な計画策定の一助とすること、及びメディアとの関係を更に強化することを目的とし、当財団の事業内容に精通している日刊自動車新聞、交通毎日新聞を対象として2月24日に実施した。

(2) SNS(フェイスブック)による情報発信

当財団活動の認知度を高めるべく、フェイスブックによる情報発信を実施。当財団イベント等の情報を関連画像と共に掲載し、3月末までの投稿数は計24回。



▲フェイスブック 投稿画面

(3) 「ニュースリリース」の発行

報道機関向けのニュースリリース『JAEF NEWS』を発行（年間6回）した。

【『JAEF NEWS』発行状況】

番号	発行日	タイトルと内容
No. 750	R2. 4. 7	令和元年度 講師派遣 実施件数が過去最多に
No. 751	R2. 6. 16	令和2年度定時評議員会を開催
No. 752	R2. 6. 30	動画学習サイト「早わかり！クルマ塾」でコンテンツ掲載開始
No. 753	R2. 8. 4	令和2年度 自動車技術教育用教材の提供校を決定
No. 754	R2. 8. 4	令和2年度 J A E F 研修会を開催
No. 755	R3. 3. 18	第23回理事会を開催

(4) 広報媒体（ホームページ、パンフレット、JAEF 支援メニュー）の充実・活用

広域普及媒体であるホームページやパンフレットにより財団活動の周知活動を行った。ホームページコンテンツをタイムリーに更新した他、閲覧者にとって分かりやすい表示を採用するなど実施した。



ホームページ トップ画面



財団パンフレット

また、先生向けの財団による支援メニューを具体的かつ手軽に告知できるようにした。『JAEF 支援メニュー【令和2年度版】』チラシも改訂・活用し、先生方への財団活動告知に努めた。



(5) 『JAEF REPORT』の発行

関係者向けの財団事業報告紙として『JAEF REPORT』(A4判・4頁・カラー)を定期的(4・7・10・1月の年4回)に発行した。直近の財団活動実績や今後の行事予定などを、財団関係者へ分かりやすく伝える情報媒体として定着している。

また、『JAEF REPORT』をホームページでも公開し、財団活動の幅広い理解促進を図った。

【『JAEF REPORT』発行状況】

番号	発行日	タイトル・内容
No.245	R2. 4. 5	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 第21回理事会を開催、令和2年度事業計画・予算を承認 ◆ 令和元年度講師派遣：過去最多件数で、4年連続の参加者10万人超え ◆ 令和元年度自動車教育用教材活用結果 ◆ 令和2年度自動車教育用教材の公募予定 ◆ 東京モーターショー校外学習支援 アンケート結果 ◆ クルマに関する高校生意識調査2019結果
No.246	R2. 7. 5	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 第22回理事会、第9回評議員会を実施 ◆ 動画学習サイト「早わかり！クルマ塾」コンテンツ掲載開始 ◆ 令和2年度JAEF研修会の参加者を募集 ◆ 33都道府県の研修会(92件)に講師を派遣 ◆ 令和2年度自動車技術教育用教材提供へ90校から応募
No.247	R2. 10. 5	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 令和2年度自動車教育用教材の提供対象校・内容を決定 ◆ 令和2年度JAEF研修会を開催 ◆ 28都道府県(53件)の研修会に講師を派遣 ◆ 動画学習サイトに6本のコンテンツ掲載
No.248	R3. 1. 5	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 新年のご挨拶 ◆ 令和2年度教材提供校に贈呈式、懇談会に代わる交流促進活動を実施 ◆ 動画学習サイト「早わかり！クルマ塾」に7本のコンテンツを掲載 ◆ 各部会・委員会にて令和2年度上期活動状況を報告 ◆ 24道府県(43件)の研修会に講師を派遣 ◆ 令和3年度講師派遣募集開始



【Ⅳ】 支援活動

1. 自動車技術教育関連イベントへの支援

ほとんどの自動車技術教育関連イベントがコロナ禍により中止となったため、今年度の支援は静岡エコラン大会のみの実施となった。

イベント名称	開催日	開催地	主催者	協賛支援内容	
				財団	協議会
第28回静岡県高校生エコラン大会	10/31 (土)	静岡	静岡県工業高等学校長会	協賛金	協賛金

2. 研究会及び研究大会への支援

前年度に続き、高校教諭を会員とする研究会活動を対象に、2件の支援を実施した。

	支援対象	実施日	支援先	協賛支援内容	
				財団	協議会
研究会支援	「全公社研紀要」への広告掲載	—	全国公民科・社会科教育研究会	協賛広告	/
	「全総会報」への広告掲載	—	全国総合学科高等学校長協会	協賛広告	/

〔V〕組織運営

1. 理事・監事・評議員の異動

決議の省略による書面での理事会（令和2年4月13日）並びに決議の省略による書面での評議員会（令和2年4月23日）において理事1名の退任及び後任者選任が行われた。

第9回定時評議員会（決議の省略による書面での評議員会、令和2年6月8日）において、評議員の選任が行われ、21名の評議員が選任された。

なお、第9回定時評議員会終了後に、所属団体における異動による退任（評議員1名、理事2名）が発生したため、決議の省略による理事会並びに評議員会を開催し、後任の評議員及び理事の一部選任が行われた。

2. 委員会・部会の効率的な運営

委員会・部会の運営にあたっては、その機能を十分に発揮できるよう心がけた。

会議の開催状況は、企画委員会3回、審査委員会1回、事業委員会2回、技術教育部会4回、調査普及部会2回、研修部会2回となっている。

3. 経理・財務の状況

関係団体からのご支援による賛助会費及び寄附金と、国債並びに仕組預金等の運用による基本財産運用益が主な収入である。令和2年度は、保有する仕組預金等の代替商品の利金が増加したため、当初計画に対し約86万円の増収となった。支出面においては、コロナ禍による影響で一部事業の中止・縮小を強いられたため、当初計画を約1,445万円下回ることになった。これに伴い、公益目的事業会計で1,093万円の剰余金が生じたため、令和3年度以降自動車技術教育への支援強化・学習形態の多様化への対応を図るべく、新規取り組みを実施し、同6年度までに前述の剰余金を解消する計画である。

〔VI〕 庶務事項

1. 事務局体制

- ・令和3年3月31日現在の業務分担は以下のとおりである。

役 職	氏 名	担当業務	担当会議
専務理事	上橋 義弘	事業統括、事務局統括 (調査研究事業)	理事会・評議員会 企画委員会、事業委員会
常務理事	有賀 潔	調査研究事業、普及啓発事業、 経理・財務、システム	調査普及部会 (理事会・評議員会)
部 長	桐山 功	技術教育支援事業 総務	審査委員会、技術教育部会
部 長	石井 秀幸	研修事業	研修部会 (理事会・評議員会)
職 員	下野 尚美	(経理、総務、研修)	(研修部会)
職 員	佐藤江里花	(調査、普及啓発、システム)	(調査普及部会)
職 員	山内しのぶ	(技術教育、研修、総務)	(企画委員会、事業委員会) (審査委員会、技術教育部会)

※ () 内は副担当としてのアシスト業務を示す

2. 賛助会費・寄附金の状況

- ・令和2年度の賛助会費・寄附金は以下の通りである。

<賛助団体名>	<金 額>
・(一社) 日本自動車工業会	35,000 千円
・(一社) 日本損害保険協会	2,400 千円
・(一社) 日本自動車販売協会連合会	4,800 千円
・(一社) 日本自動車連盟	1,200 千円
・(一社) 日本自動車会議所	600 千円
・(一社) 全国軽自動車協会連合会	1,200 千円
・(一社) 日本中古自動車販売協会連合会	600 千円
・(一社) 日本自動車整備振興会連合会	600 千円
・(一財) 自動車検査登録情報協会	600 千円
合 計	47,000 千円

<寄附団体名>	<金 額>
・(一社) 日本自動車機械工具協会	6,000 千円
合 計	6,000 千円

以 上

【資料1】令和2年度講師派遣実績

1. 自動車技術教育

No.	都道府県	主催	月日	テーマ	講師名(敬称略)	人数
1	神奈川県	県立 向の岡工業高等学校	7/27	②日産・電気自動車について	神奈川県自動車株式会社 サービス部長	杉山広明 73
2	群馬県	県立 桐生工業高等学校	11/5	②日産・電気自動車について	群馬日産自動車株式会社 品質保証センター	湯浅正彩 40
3	新潟県	県立 新潟県中央工業高等学校	11/5	①トヨタ・ハイブリッド車について	新潟トヨペット株式会社 サービス部 部長	安部武雄 110
4	群馬県	県立 桐生工業高等学校	11/5	②日産・電気自動車について	群馬日産自動車株式会社 品質保証センター	湯浅正彩 39
5	山口県	県立 柳井商工高等学校	11/6	④マツダ・SKYACTIVエンジンについて	マツダ株式会社 カスタマーサービス本部 アシスタントマネージャー	越野 一浩 35
6	奈良県	県立 奈良朱雀高等学校	11/9	②日産・電気自動車について	株式会社日産サテリオ奈良 サービス部課長	松井健司 64
7	広島県	市立 広島工業高等学校	11/12	③ホンダハイブリッド車について	ホンダ四輪販売西中国 サービス部 課長	小滝克己 39
8	埼玉県	県立 春日部工業高等学校	11/26	④マツダ・SKYACTIVエンジンについて	マツダ株式会社 能力開発部	越野一浩 38
9	埼玉県	県立 春日部工業高等学校	11/26	④マツダ・SKYACTIVエンジンについて	マツダ株式会社 能力開発部	越野一浩 35
10	宮城県	県立 加美農業高等学校	12/7	③ホンダハイブリッド車について	株式会社ホンダ四輪販売南・東北 本社サービス推進課	笹原康則 33
11	宮城県	県立 加美農業高等学校	12/10	①トヨタ・ハイブリッド車について	宮城トヨタ自動車株式会社 MTG本部サービス技術グループ	渥美直樹 29
12	福岡県	工業教育研究会 ものづくり技術向上委員会	12/25	⑥ガソリンエンジンの分解・組立	福岡県自動車整備振興会	元村和矢 11
13	東京都	都立六郷工科高等学校	1/15	①トヨタ・ハイブリッド車について	トヨタモビリティ東京株式会社	久保田誉 32
14	青森県	弘前東高等学校	1/20	①トヨタ・ハイブリッド車について	青森トヨタ自動車株式会社 本社サービス部サービストレーナー	鳴海裕介 26
15	宮城県	県立 加美農業高等学校	1/20	②日産・電気自動車について	株式会社日産サテリオ宮城 営業本部	安部典昭 26
16	青森県	弘前東高等学校	1/21	②日産・電気自動車について	株式会社日産サテリオ弘前 本社サービス部 課長	対馬昭人 20
自動車技術教育計						650

2. 交通社会教育

No.	都道府県	主催	月日	テーマ	講師名(敬称略)	参加人数
1	長野	松本工業高等学校	4/8	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・長野支部 金子 公一	200
2	大阪	府立布施高等学校	4/9	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・近畿支部 橋本 昇	320
3	岐阜	県立大垣商業高等学校定時制	4/10	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・岐阜支部 大橋 義典	60
4	大阪	大阪市立高等学校	4/10	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・近畿支部 石井 義久	960
5	鹿児島	鹿児島修学館中等高等学校	4/10	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・鹿児島支部 白濱 純平	300
6	宮崎	豊栄学園都城高等学校	4/13	交通技術と社会のあり方（自動運転技術の現状と方向性）	NAC 西村 直人	90
7	青森	県立三戸高等学校	4/14	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・青森支部 中園 浩二	120
8	群馬	県立赤城特別支援学校	4/14	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・群馬支部 星野 賢次	10
9	東京	都立八王子拓真高等学校	4/14	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・東京支部 谷 宗一郎	300
10	富山	県立上市高等学校	4/14	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・北陸支部 横田 龍夫	200
11	秋田	県立横手清陵学院中学校・高等学校	4/15	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・秋田支部 横岡 彰	550
12	福島	県立石川高等学校	4/15	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・福島支部 渡辺 周二	80
13	青森	県立野辺地高等学校	4/15	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・青森支部 中園 浩二	220
14	福島	県立郡山高等学校	4/16	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・神奈川支部 渡辺 周二	560
15	青森	県立弘前南高等学校	4/16	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・青森支部 中園 浩二	750
16	千葉	船橋市立船橋高等学校	4/16	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・千葉支部 柳田 洋	200
17	青森	県立六戸高等学校	4/17	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・青森支部 中園 浩二	150
18	秋田	県立大曲農業高等学校太田分校	4/17	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・秋田支部 横岡 彰	60
19	大阪	府立北千里高等学校	4/17	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・近畿支部 角田 清	1,080
20	大阪	府立藤井寺工科高等学校定時制	4/20	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・大阪支部 大野 芳久	180
21	愛知	県立豊川特別支援学校	4/21	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・愛知支部 寺本 浩	150
22	秋田	県立栗田支援学校	4/21	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・兵庫支部 横岡 彰	70
23	岩手	岩手県立久慈工業高等学校	4/21	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・岩手支部 青木 順哉	100
24	三重	県立川越高等学校	4/22	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・三重支部 菅野 雄彦	960
25	大阪	英真学園高等学校	4/22	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・近畿支部 前原 利生	300
26	福島	県立新地高等学校	4/23	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・福島支部 渡辺 周二	50
27	埼玉	県立川口東高等学校	4/23	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・埼玉支部 井平 高史	810
28	長野	東海大学付属諏訪高等学校	4/23	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・南関東支部 高野 美智子	913
29	群馬	県立伊勢崎清明高等学校	4/23	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・北関東支部 重政 彰一	720
30	岩手	県立盛岡峰南高等支援学校	4/23	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・岩手支部 青木 順哉	130
31	宮崎	県立高城高等学校	4/23	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・九州支部 前野 哲郎	315
32	北海道	津別高等学校	4/24	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・北海道支部 荒川 昌一	90
33	兵庫	神戸市立葺合高等学校	4/24	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・近畿支部 井上 賢	100
34	群馬	県立高崎女子高等学校	4/24	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・北関東支部 森田 啓資	890
35	和歌山	県立南紀高等学校	4/27	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・沖縄支部 村井 康人	80
36	北海道	奈井江商業高等学校	4/28	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・札幌支部 加藤 昇	80
37	岐阜	県立本巣松陽高等学校	4/28	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・中部支部 傳田 亮介	700
38	北海道	美唄尚栄高等学校	4/28	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・北海道支部 荒川 昌一	170
39	奈良	県立五條高等学校	4/29	二輪車（バイク）の交通安全 高校生のためのSafety Riding	日本二輪車普及安全協会・大阪事務所 松本 貴幸	40
40	滋賀	県立草津東高等学校	4/30	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・滋賀支部 生田 真	1,150
41	宮城	県立支援学校小牛田高等学園	4/30	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・宮城支部 富澤 亮人	70
42	北海道	石狩南高等学校	4/30	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・札幌支部 山本 洋平	412
43	東京	都立久留米西高等学校	5/1	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・東京支部 谷 宗一郎	760
44	北海道	名寄高等学校	5/7	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・北海道支部 加藤 昇	330
45	岐阜	県立可児工業高等学校	5/7	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・岐阜支部 大橋 義典	600
46	栃木	県立鹿沼東高等学校	5/7	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・北関東支部 秋山 隆彦	600
47	長野	県長野商業高等学校	5/7	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・長野支部 金子 公一	255
48	岐阜	県立岐南工業高等学校	5/8	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・岐阜支部 大橋 義典	840

2. 交通社会教育

No.	都道府県	主催	月日	テーマ	講師名(敬称略)	参加人数
49	長野	駒ヶ根工業高等学校	5/8	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・長野支部 金子 公一	360
50	宮城	名取北高等学校	5/8	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・宮城支部 富澤 亮人	830
51	茨城	水戸女子高等学校	5/9	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・茨城支部 高橋 啓剛	185
52	大阪	東大阪府立日新高高等学校	5/11	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・近畿支部 皆田 香織	800
53	秋田	県立横手高等学校定時制	5/11	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・秋田支部 横岡 彰	100
54	群馬	県立高崎北高等学校	5/12	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・北関東支部 重政 彰一	720
55	北海道	市立札幌新川高等学校	5/13	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・北海道支部 荒川 昌一	960
56	秋田	県立本荘高等学校	5/13	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・秋田支部 横岡 彰	720
57	広島	県立三原東高等学校	5/13	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・広島支部 田中 浩司	250
58	北海道	札幌西高等学校定時制課程	5/13	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・札幌支部 加藤 昇	40
59	愛知	県立一宮工業高等学校	5/14	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・愛知支部 寺本 浩	750
60	山形	県立米沢商業高等学校	5/14	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・山形支部 柏倉 保	350
61	福島	県立福島南高等学校	5/15	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・福島支部 渡辺 周二	520
62	鹿児島	鹿児島高等特別支援学校	5/19	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・鹿児島支部 白濱 純平	100
63	北海道	月形高等学校	5/19	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・北海道支部 荒川 昌一	60
64	福井	県立福井東特別支援学校	5/19	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・福井支部 伊藤 鉄平	20
65	新潟	県立長岡農業高等学校	5/19	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・北関東支部 宮城 武文	480
66	山形	県立酒田西高等学校定時制	5/20	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・山形支部 柏倉 保	50
67	秋田	秋田県立大館鳳鳴高等学校	5/20	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・秋田支部 横岡 彰	715
68	岩手	県立水沢商業高等学校	5/20	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・岩手支部 青木 順哉	320
69	群馬	県立下仁田高等学校	5/21	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・北関東支部 河野 和亘	120
70	大阪	府立富田林高等学校	5/21	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・近畿支部 井上 賢	240
71	秋田	県立秋田北高等学校	5/21	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・秋田支部 横岡 彰	731
72	福島	会津第二高等学校	5/22	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・福島支部 渡辺 周二	30
73	福島	県立聴覚支援学校	5/22	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・福島支部 渡辺 周二	30
74	兵庫	県立西脇北高等学校	5/23	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・近畿支部 藤江 久光	200
75	兵庫	西宮市立西宮東高等学校	5/25	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・兵庫支部 岡田 裕己	460
76	熊本	県立八代東高等学校	5/27	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・熊本支部 前川 憲司	350
77	秋田	県立雄物川高等学校	5/27	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・秋田支部 横岡 彰	220
78	長野	野沢北高等学校	5/28	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・北関東支部 秋山 隆彦	360
79	愛知	県立一色高等学校	5/28	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・愛知支部 寺本 浩	600
80	福岡	県立玄洋高等学校	5/29	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・九州支部 新富 正昭	710
81	秋田	県立大館鳳鳴高等学校 定時制課程	6/4	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・秋田支部 横岡 彰	75
82	福岡	県立筑後特別支援学校	6/4	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・福岡支部 田中 至道	136
83	徳島	徳島聴覚支援学校	6/5	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・秋田支部 角田 義道	16
84	島根	県立出雲商業高等学校	6/10	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・中国支部 清水 英男	480
85	石川	県立金沢錦丘高等学校	6/10	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・石川支部 坪内 秀輔	320
86	茨城	県立鬼怒商業高等学校	6/10	二輪車（バイク）の交通安全 高校生のためのSafety Riding	日本二輪車普及安全協会・大阪事務所 松本 貴幸	16
87	福島	県立福島商業高等学校	6/10	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・福島支部 渡辺 周二	240
88	愛知	県立足助高等学校	6/11	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・中部支部 下田 純子	240
89	石川	県立野々市明倫高等学校	6/11	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・中部支部 横田 龍夫	280
90	長野	佐久平総合技術高等学校臼田キャンパス	6/11	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・北関東支部 小澤 純	240
91	茨城	県立基崎高等学校	6/12	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・茨城支部 高橋 啓剛	160
92	和歌山	初芝橋本中学校高等学校	6/12	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・和歌山支部 為廣 光章	200
93	大阪	府立八尾翠翔高等学校	6/15	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・近畿支部 石井 義久	650
94	秋田	県立六郷高等学校	6/16	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・秋田支部 横岡 彰	270
95	京都	府立鴨沂高等学校	6/17	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・京都支部 頭井与志範	240
96	福井	県立勝山高等学校	6/17	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・北陸支部 田内 幸雄	120

2. 交通社会教育

No.	都道府県	主催	月日	テーマ	講師名(敬称略)	参加人数
97	静岡	県立椋原高等学校	6/18	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・静岡支部	水谷 和俊 200
98	福島	県立福島明成高等学校	6/23	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・福島支部	渡辺 周二 420
99	奈良	県立奈良朱雀高等学校	6/24	地球温暖化防止と自動車技術(次世代自動車とインフラ)	次世代自動車復興センター	荻野 法一 40
100	北海道	弟子屈高等学校	6/25	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・札幌支部	内藤 裕孝 90
101	茨城	県立大洗高等学校	6/26	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・南関東支部	道家 謙太郎 300
102	静岡	島田高等学校	7/1	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・静岡支部	永谷 和俊 600
103	福島	県立大沼高等学校	7/2	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・東北支部	平島 正 230
104	三重	県立北星高等学校	7/2	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・三重支部	萱野 雄彦 60
105	兵庫	県立鳴尾高等学校	7/3	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・近畿支部	隅田 清 280
106	新潟	県立正徳館高等学校	7/3	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・新潟支部	田中 政彦 100
107	新潟	県立五泉高等学校	7/8	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・新潟支部	田中 政彦 600
108	大阪	府立門真西高等学校	7/9	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・大阪支部	小山 真 500
109	沖縄	県立那覇国際高校	7/10	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・沖縄支部	前里 清光 1,088
110	北海道	函館工業高等学校校定時制	7/10	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・函館支部	中者 善元 45
111	岡山	倉敷市立工業高等学校	7/13	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・岡山支部	建部 拓 60
112	石川	小松市立高等学校	7/14	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・石川支部	元谷 公一 560
113	福岡	県立浮羽工業高等学校	7/15	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・福岡支部	庄島 恭博 110
114	岐阜	県立武義高等学校	7/16	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・岐阜支部	大橋 義典 600
115	島根	松江市立女子高等学校	7/16	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・島根支部	伊藤 昇 360
116	秋田	県立角館高等学校校定時制	7/17	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・秋田支部	横岡 彰 50
117	富山	県立上市高等学校	7/20	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・北陸支部	横田 龍夫 157
118	秋田	県立栗田支援学校	7/20	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・東北支部	平島 正 60
119	北海道	留辺蘂高等学校	7/21	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・北見支部	高橋 純 50
120	宮崎	県立福島高等学校	7/21	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・宮崎支部	竹内 真一 240
121	北海道	苫小牧工業高等学校校定時制	7/21	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・釧路支部	中者 善元 120
122	兵庫	県立神戸聴覚特別支援学校	7/22	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・兵庫支部	岡田 裕己 30
123	静岡	県立藤枝特別支援学校焼津分校	7/22	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・中部支部	沖田 完治 54
124	沖縄	県立宮古高等学校	7/22	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・沖縄支部	新里 稔 800
125	埼玉	県立桶川高等学校	7/28	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・北関東支部	三柴 啓一 630
126	三重	県立宇治山田商業高等学校	7/29	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・三重支部	萱野 雄彦 400
127	北海道	千歳北陽高等学校	7/29	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・札幌支部	内藤 裕孝 320
128	広島	県立上下高等学校	8/5	二輪車(バイク)の交通安全 高校生のためのSafety Riding	日本二輪車普及安全協会・中国支部	田村 敏夫 2
129	東京	都立神津高等学校	8/6	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・東京支部	谷 宗一郎 55
130	北海道	旭川東高等学校校定時制	8/24	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・秋田支部	後藤 博行 50
131	群馬	県立伊勢崎商業高等学校	9/1	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・北関東支部	三柴 啓一 450
132	茨城	県立鬼怒商業高等学校	9/2	二輪車(バイク)の交通安全 高校生のためのSafety Riding	日本二輪車普及安全協会・大阪事務所	安保 秀人 16
133	和歌山	県立紀伊コスモス支援学校	9/2	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・近畿支部	角田 清 50
134	福島	県立郡山北工業高等学校	9/2	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・福島支部	渡辺 周二 280
135	大阪	府立茨木工科高等学校	9/2	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・近畿支部	上村 俊一 204
136	東京	大森学園高等学校	9/2	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・東京支部	谷 宗一郎 250
137	福島	県立安達東高等学校	9/4	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・福島支部	渡辺 周二 165
138	神奈川	県立瀬谷西高等学校	9/8	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・神奈川支部	奥田 恭司 310
139	京都	府立工業高等学校	9/10	地球温暖化防止と自動車技術(次世代自動車とインフラ)	次世代自動車復興センター	荻野 法一 40
140	埼玉	県立吹上秋桜高等学校	9/14	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・埼玉支部	小林 宗博 400
141	茨城	県立波崎柳川高等学校	9/15	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・茨城支部	高橋 啓剛 373
142	秋田	県立西目高等学校	9/15	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・秋田支部	横岡 彰 122
143	茨城	県立日立商業高等学校	9/16	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・茨城支部	高橋 啓剛 600
144	大阪	東大阪大学柏原高等学校	9/16	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・近畿支部	前田 利生 250

2. 交通社会教育

No.	都道府県	主催	月日	テーマ	講師名(敬称略)	参加人数
145	大阪	関西大学北陽高等学校・中学校	9/16	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・大阪支部 大野 芳久	500
146	群馬	県立松井田高等学校	9/16	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・群馬支部 星野 賢次	186
147	岡山	県立高松農業高等学校	9/17	地球温暖化防止と自動車技術（次世代自動車とインフラ）	次世代自動車振興センター 荻野 法一	70
148	大阪	府立藤井寺高等学校	9/17	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・近畿支部 石井 義久	240
149	宮城	松山高等学校	9/18	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・宮城支部 富澤 亮人	175
150	福島	県立白河第二高等学校	9/23	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・東北支部 石川 静男	63
151	群馬	県立桐生西高等学校	9/25	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・群馬支部 星野 賢次	100
152	愛知	県立安城高等学校	9/28	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・愛知支部 寺本 浩	90
153	熊本	県立菊池高等学校	9/28	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・熊本支部 緒方 将	400
154	奈良	県立大淀高等学校	9/30	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・奈良支部 竹ノ内 英介	400
155	秋田	県立能代高等学校	9/30	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・秋田支部 横岡 彰	450
156	北海道	長万部高等学校	10/5	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・札幌支部 中者 善元	88
157	熊本	県立天草高等学校倉岳校	10/8	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・熊本支部 緒方 将	50
158	福島	県立郡山支援学校	10/12	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・福島支部 田代 秀之	20
159	山梨	東海大学付属諏訪高等学校	10/16	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・山梨支部 丹澤 英之	721
160	山梨	東海大学附属甲府高等学校	10/16	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・山梨支部 丹澤 英之	793
161	沖縄	県立石川高等学校	10/20	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・沖縄支部 新里 稔	425
162	茨城	県立麻生高等学校	10/22	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・茨城支部 高橋 啓剛	600
163	神奈川	県立茅ヶ崎北陵高等学校	10/22	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・南関東支部 浅見 英明	280
164	宮城	多賀城高等学校	10/22	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・宮城支部 佐藤 陽	280
165	兵庫	県立尼崎西高等学校	10/26	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・兵庫支部 岡田 裕己	701
166	秋田	秋田市立秋田商業高等学校	10/28	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・東北支部 平島 正	238
167	大阪	東大阪大学柏原高等学校	10/28	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・近畿支部 角田 清	255
168	福岡	県立明善高等学校	10/29	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・福岡支部 田中 至道	298
169	秋田	県立十和田高等学校	10/29	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・秋田支部 横岡 彰	61
170	福島	いわき翠の杜高等学校	10/30	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・東北支部 横岡 彰	48
171	福島	いわき翠の杜高等学校	10/30	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・福島支部 田代 秀之	16
172	北海道	室蘭栄高等学校定時制	11/4	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・札幌支部 山本 洋平	42
173	神奈川	県立新栄高等学校	11/6	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・神奈川支部 池田 幸平	361
174	秋田	県立大曲農業高等学校太田分校	11/6	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・秋田支部 横岡 彰	50
175	山口	県立熊毛北高等学校	11/6	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・東京支部 宮崎 秀広	163
176	大阪	東大阪大学柏原高等学校	11/9	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・大阪支部 小山 真	193
177	福岡	県立三井高等学校	11/10	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・福岡支部 田中 至道	440
178	熊本	県立八代清流高等学校	11/12	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・九州支部 村上 立志	430
179	群馬	県立明和県央高等学校	11/13	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・北関東支部 三柴 啓一	280
180	千葉	県立慣橋高等学校	11/18	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・千葉支部 永山 栄司	280
181	茨城	県立牛久高等学校	11/20	二輪車（バイク）の交通安全 高校生のためのSafety Riding	日本二輪車普及安全協会・関東事務所 山中 進	14
182	秋田	県立本庄高等学校定時制課程	11/24	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・秋田支部 横岡 彰	24
183	鹿児島	県立種子島中央高校	11/27	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・鹿児島支部 白濱 純洋	261
184	神奈川	県立藤沢工科高等学校	11/27	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・南関東支部 竹島 亜機雄	208
185	茨城	県立下館第一高等学校	12/7	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・南関東支部 道家 謙太郎	242
186	兵庫	県立宝塚高等学校	12/11	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・兵庫支部 岡田 裕己	497
187	沖縄	県立那覇工業高等学校	12/16	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・沖縄支部 新里 稔	665
188	滋賀	県立国際情報高等学校	12/18	交通技術と社会のあり方（自動運転と紛争解決）	ITS Japan 佐藤 昌之	61
189	鹿児島	県立大島北高等学校	12/22	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・九州支部 前野 哲郎	137
190	愛知	県立一色高等学校	1/14	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・愛知支部 寺本 浩	203
191	神奈川	県立伊勢原高等学校 定時制の過程	1/18	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・神奈川支部 池田幸平・和田俊司	68
192	北海道	福島商業高等学校	2/2	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・札幌支部 中者 善元	20

2. 交通社会教育

No.	都道府県	主催	月日	テーマ	講師名(敬称略)		参加人数
193	沖縄	県立陽明高等学校	2/3	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・沖縄支部	前里 清光	263
194	兵庫	西宮市立西宮東高等学校	3/5	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・兵庫支部	岡田 裕己	336
195	東京	都立浅草高等学校	3/5	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・南関東支部	浅見 英明	410
196	埼玉	県立宮代高等学校	3/18	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・埼玉支部	調整中	430
197	千葉	県立船橋北高等学校	3/19	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会・南関東支部	栗山 稔朗	480
交通社会教育計							61,016
自動車技術教育計							650
総合計							61,666

自動車技術教育の現状と課題に関するアンケート（サマリー）
（対象 令和2年度自動車教育用教材提供校 全91校）

1. 自動車技術教育の現場の現状・課題について

(1) 自動車技術教育は何年次にどれぐらいの時間実施されていますか
自動車専科の減少や学科統合などの流れの中で、自動車専科以外では自動車技術教育の履修時間数は減少傾向にあるようだ。中には課外活動として勉強会を実施しているとの回答があった。
(2) 自動車技術教育の課題は何でしょうか
自動車技術教育の課題としては、最新技術への対応、教える側のキャパシティの低下、履修時間の確保や設備教材の不足などの回答が多かった。 中にはエンジンからモーターへの変化など授業内容と現場で必要な知識技術の乖離や各装置のブラックボックス化による分解組立の不要化など不安の回答があった。
(3) 学生のクルマ離れの状況は如何でしょうか
生徒が車に触れる機会が少なくなり、クルマは単なる移動手段との認識が進み、学生のクルマ離れが進行していることが多くの学校から報告された。 買い物・娯楽・学習など生活がスマホで済んでしまい、生徒の関心を引くものが次々に現れ、新鮮なものに興味関心が移行してしまっている。また、価格や維持費の高さから、所有することが難しいことから興味がなくなっているのではないかと回答もあった。
(4) その他課題があればご自由に記載ください
現在の教育現場の状況や現場が抱える様々な課題の回答があった。

2. 自動車技術者の人材育成に向けた課題と対策について

(1) 自動車関連への進学・就職の現状は如何ですか
生徒数の減少はあるものの、ここ数年は変動がないという回答が多い。
(2) 自動車関連への進学・就職の課題は何でしょうか
進学については学費等の経済的な問題という回答が多数寄せられた。就労後の待遇が学費に見合わないという回答もあった。 就職では働きながらの整備士資格取得の負担の回答が寄せられた。土日勤務をはじめとする労働環境や待遇面の改善が寄せられた。
(3) 上記課題に対して学校として工夫していることがあれば記入してください
課題克服に向けた工夫としては、インターンシップや職場見学の実施、課題研究や課外活動で自動車関連イベントやものづくり大会参加を目指す活動や、自動車関係団体による講習の実施、タイヤオイル交換などの実習機会の増加などが寄せられた。 進学に対して奨学金の申込やディーラーとの連携、就職者へのディーラーとの資格取得費用補助の連携。中には専門教科の教員で市内ディーラーへの挨拶回り実施による連携強化などの回答もあった。
(4) その他ご自由に記載ください
整備士の労働環境の改善や待遇の改善の周知の必要性など様々な回答が寄せられた。中には、中学生・高校生に将来欲しい車について提案を集めるなど提案があった。

3. 関係団体に対する質問・要望

整備士資格制度の改善、整備士の待遇改善、実習実技指導や講習の実施、エンジンやブレーキパーツなどの提供などの要望が寄せられた。
関係団体との連携した活動の報告もあり、中には技術系講師派遣による講師会社への就職という報告もあった。

4. 財団に対する質問・要望（提供教材や講師派遣）

教材提供活動の継続を要望する回答が多く寄せられた。また、提供教材について様々なご意見ご要望が寄せられた。
中にはタイヤ充填安全教育講習や砥石安全教育講習や低圧電気安全講習などの資格取得を足掛かりとした人材育成（確保）のご提案もあった。

5. 技術系講師派遣について

(1) 講師派遣の活用志向を教えてください

コロナ禍の影響があるとはいえ、活用志向があるのは約三割という状況。財団のPR不足も少し感じる結果だった。

(2) 活用が難しい場合その要因は何でしょうか

活用の障碍として最も多かったのは受講時間の確保だった。今年度に特有ですがコロナ禍に関する回答も目立った。

令和 2 年度事業報告附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 3 4 条に規定する事項は存在しない。

公益財団法人 日本自動車教育振興財団